



ジョイフル

VOL.74
2024.12.25 発行



お お た し げ ち か
豊明第1営業所 所長 **大田 滋睦**

2005年、南星キャリアックス株式会社中途入社し、2024年からは豊明第1営業所所長を務めている大田滋睦さん。持ち前の打たれ強さと、チームワークを大切にする姿勢で、周囲から多くの信頼を得ています。忙しく働く大田さんは、日々どのように仕事と向き合っているのでしょうか。エピソードを聞きながら、活躍の秘訣に迫りました。

——所長就任後、仕事ではどのような変化がありましたか。

現在は所長として現場に乗務員を派遣し、サポートやフォロワー、トラブルがあった場合の対応など、全体を統括する業務を担当。70人以上の乗務員を管理しているため、非常に大変な反面、大きなやりがいを感じています。チームがうまく回っているのを見ると、とても嬉しくなるもの。その積み重ねにより、前向きな気持ちで仕事に取り組

めています。また、食品をメインに配達しているので、ラインの一端を担っているという誇りを持って業務にあたっています。

意識の面では、就任前に比べて仕事に対する責任感が増えました。私がしっかりと役割を果たさなければ、70人以上の乗務員が路頭に迷うことになってしまいます。そうならないためにも、営業所としての売り上げや目標などに目を向けて、目標達成のために何が必要なかを考えるようになりました。

——目標達成のために、どのような努力を行っていますか。

まずは、乗務員への教育ですね。私が最も大切にしているのが、人間関係やチームワークなので、乗務員全員で協力して仕事をしていくように伝えていきます。

乗務員の仕事は、基本的に一人で行う場合がほとんどです。

多いのです。乗務員が抱えている悩みを軽減させるためにも、気持ち良く仕事ができる職場環境を作っていきたいと思っています。

——所長として苦労していることがあればお聞かせください。

乗務員たちには良い人間関係を作るように伝えていますが、望み通りの結果が出ているとは言えない状態です。正直なところ、70人以上いる乗務員の人間関係を、私一人でコントロールするのは不可能だと痛感しました。

私には、「縁あって入社したのだから辞めてほしくない」という思いがあります。ただ、すべての乗務員の状態を把握するのは難しいので、一人ひとりが自分で考えて、働きやすい雰囲気を作る意識を持ってほしいと思っています。気軽に相談できる相手を作るだけでもかまいません。私もどのような環境にす



そのため、職場でのコミュニケーションは不要だと感じる人もいるでしょう。しかし、いざというときに助けてくれるのは、一緒に働く仲間たち。少ない時間でも良いので、所内の仲間とコミュニケーションを取ることが大切なのです。もし悩んでいる人がいれば、私でも、私以外の誰にでも気軽に相談してほしいと思っています。職場での人間関係が円滑ならば、日々の業務もより効率的に進んでいくでしょう。

——南星キャリアックスの好きなところを教えてください。

本当に優しい人が多く、人に恵まれた環境だと思います。最初は管理職には大変なイメージを持っていて、自分には無理だろうと思っていたのですが、周りのサポートのおかげで何とか続けられています。困ったことがあればすぐに助けてくれる仲間たちがいるので、豊明第1営業所でもその社風を引き継いでいきたいところです。

——最後に、今後の目標をお願いします。

就任時は、「和を大切にする営業所にしていきたい」と目標を設定しました。まだ結果が出ているとは言い難いものの、确实

に豊明第1営業所の環境は良くなっていると感じています。乗務員の皆さんは毎日頑張ってくれているため、私は売り上げの数字で結果を出し、皆さんの期待に応えていきたいと思っています。

これからも、乗務員全員が働きやすく、互いに支え合える環境を作り、南星キャリアックスで最も居心地の良い営業所を目指していくつもりです。

